

# 第1章 塩尻市の概況と特性

\*マークの付いた用語の解説は冊子巻末の「用語解説」のページに掲載されています。

# 第1章 塩尻市の概況と特性

## 1 塩尻市民の健康をとりまく状況

### (1)人口構成

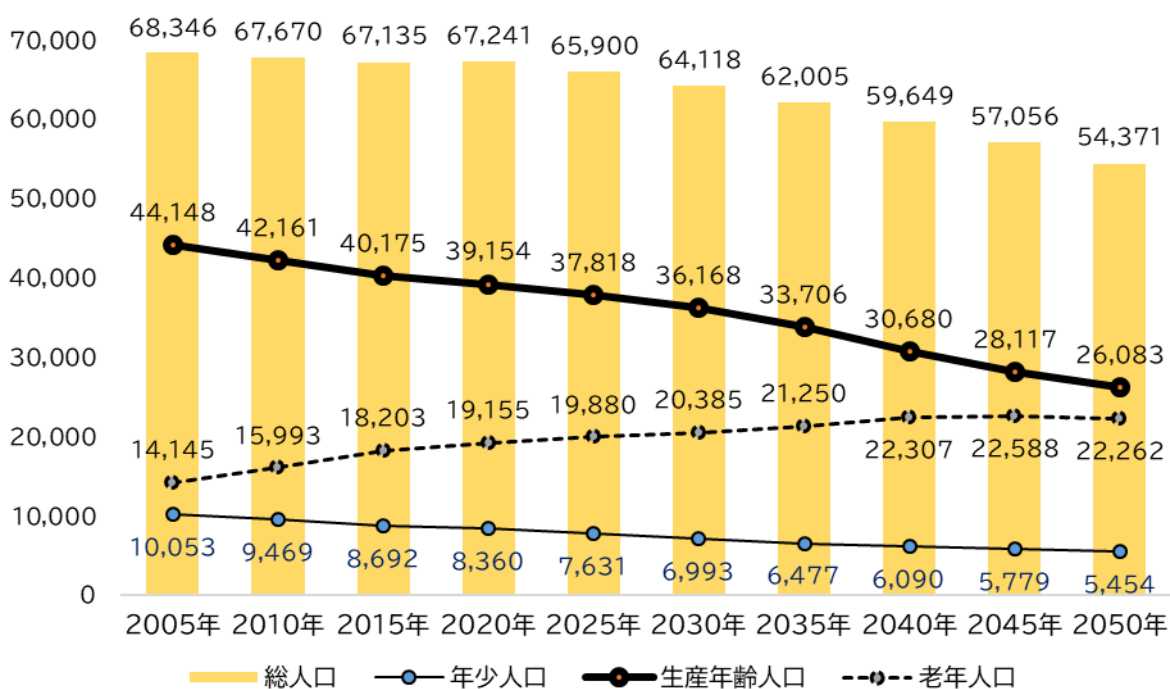
令和2年(2020年)を基準とした推計によると、本市の人口は令和2年以降、年々減少を続けており、約30年後の2050年には54,371人となる見込みです。

人口構成は、生産年齢人口(15～64歳)と年少人口(0歳～14歳)が令和2年から令和7年(2025年)までの5年間に、2,065人減少しているのに対し、高齢人口(65歳以上人口)は、同期間で725人増加しています。

高齢化率は、令和2年には28.5%でしたが、令和7年には30.2%となり、5年間で1.7ポイント高くなっております。

生産年齢人口・年少人口ともに総人口に占める割合が年々減少しており、少子高齢化が進んでいます。

図表2 塩尻市将来推計人口(独自推計)



(注)総人口には年齢不詳を含みます。

出典:企画課

## (2)出生と死亡

塩尻市の出生割合は、県や国と比較して高い状況ですが、出生体重2,500g未満の低出生体重児の割合も高めとなっています。(図表3)

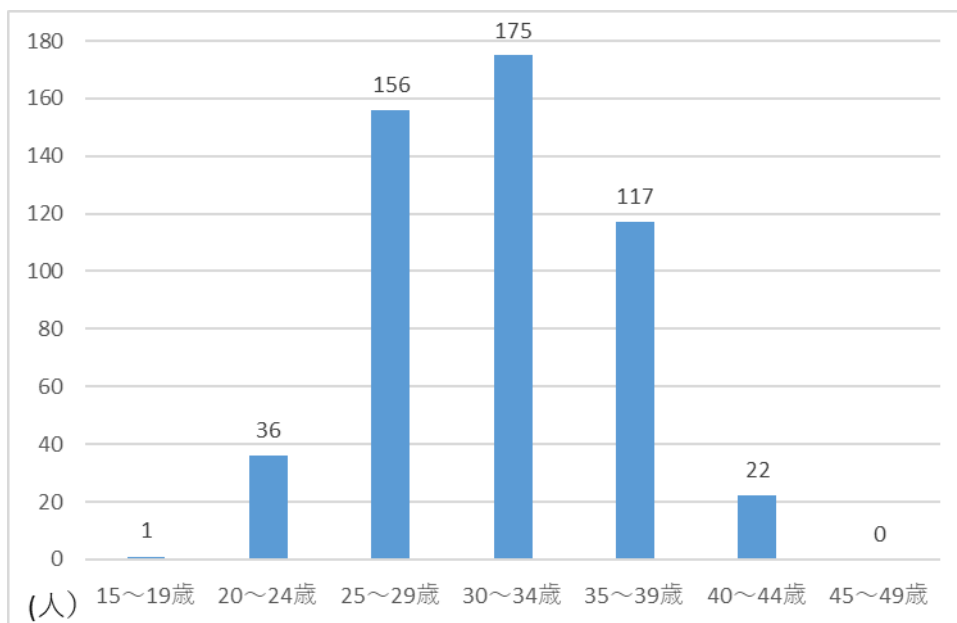
母の年齢別出生数を見ると、ピークは30～34歳となっており、29歳以下での出生は全体の約4割となっています。(図表4)

図表3 塩尻市の出生の状況

	出生数(人)	割合	低体重児(2,500g未満)		極低体重児(1,500g未満)	
			人数(人)	割合	人数(人)	割合
塩尻市	507	7.5(人口千対)	51	10.1(出生百対)	5	0.99(出生百対)
長野県	12,864	6.4(人口千対)	1,237	9.6(出生百対)	106	0.82(出生百対)
国	840,835	6.8(人口千対)	77,539	9.2(出生百対)	6,228	0.74(出生百対)

出典:令和2年版長野県衛生年報

図表4 塩尻市の母の年齢別出生数



出典:令和2年人口動態統計

塩尻市の死亡原因疾患の第1位は、県や国と同様、「悪性新生物(がん)」となっています。上位4位までを見ると、塩尻市は、県・国に比べて、心疾患と老衰の割合が低くなっています。また、国の水準と比べると脳血管疾患の割合が高くなっています。(図表5)

65歳未満の令和2年死亡率は、男女とも県、国の平均を下回っています。(図表7)

図表5 塩尻市の主要死因疾患

死亡率(人口10万対)

順位	塩尻市	長野県	国
1位	悪性新生物 269.2	悪性新生物 316.9	悪性新生物 306.6
2位	心疾患 124.9	心疾患 182.7	心疾患 166.6
3位	脳血管疾患 102.6	老衰 158.9	老衰 107.3
4位	老衰 53.5	脳血管疾患 114.6	脳血管疾患 83.5

出典:令和2年長野県衛生年報

図表6 特定死因別死亡者数の推移

単位:人

区 分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
悪性新生物(がん等)	177	163	161	174	197	181
心 疾 患	91	83	99	107	99	84
脳 血 管 疾 患	65	55	46	68	54	69
肺 炎・気 管 支 炎	79	105	78	86	101	81
老 衰	84	91	90	101	123	119
不 慮 の 事 故	33	29	25	27	32	29
自 殺	13	12	12	6	15	15
肝 疾 患	9	8	6	9	7	9
高 血 圧 性 疾 患	2	1	7	2	2	4
結 核	1	2	4	1	2	1

出典:長野県衛生年報

図表7 65歳未満死亡の割合

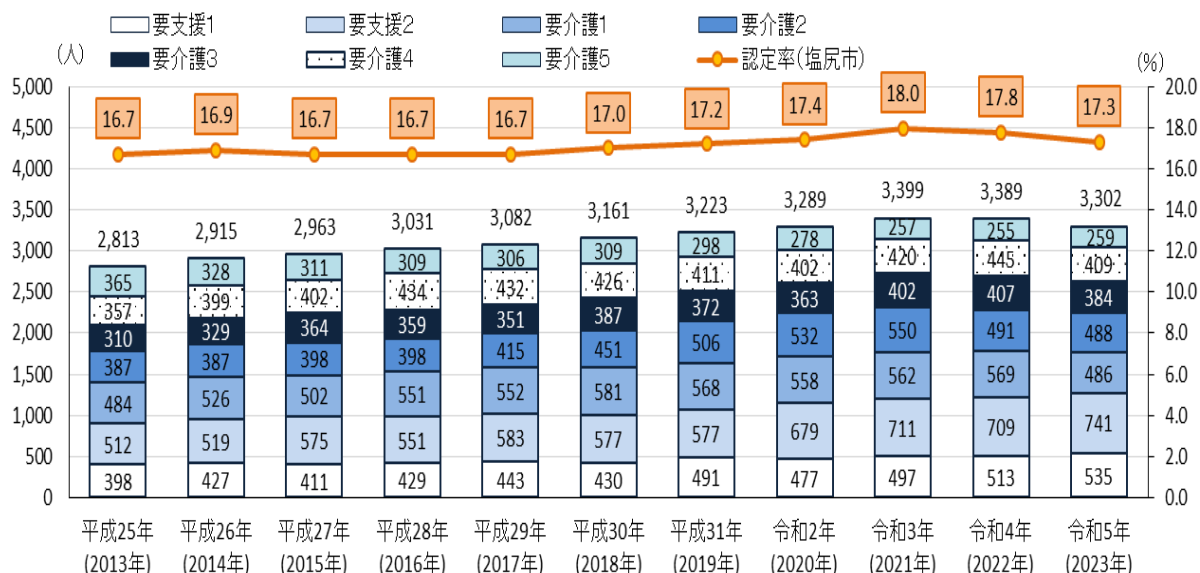
	総 数		男 性		女 性	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2
塩尻市	9.9%	5.3%	15.2%	7.0%	5.2%	3.4%
長野県	8.3%	7.0%	11.4%	9.0%	5.2%	5.0%
国	11.0%	9.1%	14.3%	11.7%	7.6%	6.4%

出典:県・市 長野県衛生年報  
国 人口動態調査

### (3)介護保険

塩尻市の要介護・要支援者認定者数は、3,302人(令和5年3月末)となっています。認定者数は、令和4年と令和5年は減少傾向にありますが、今後、高齢化が進むことに伴い、認定者数の増加が見込まれます。(図表8)

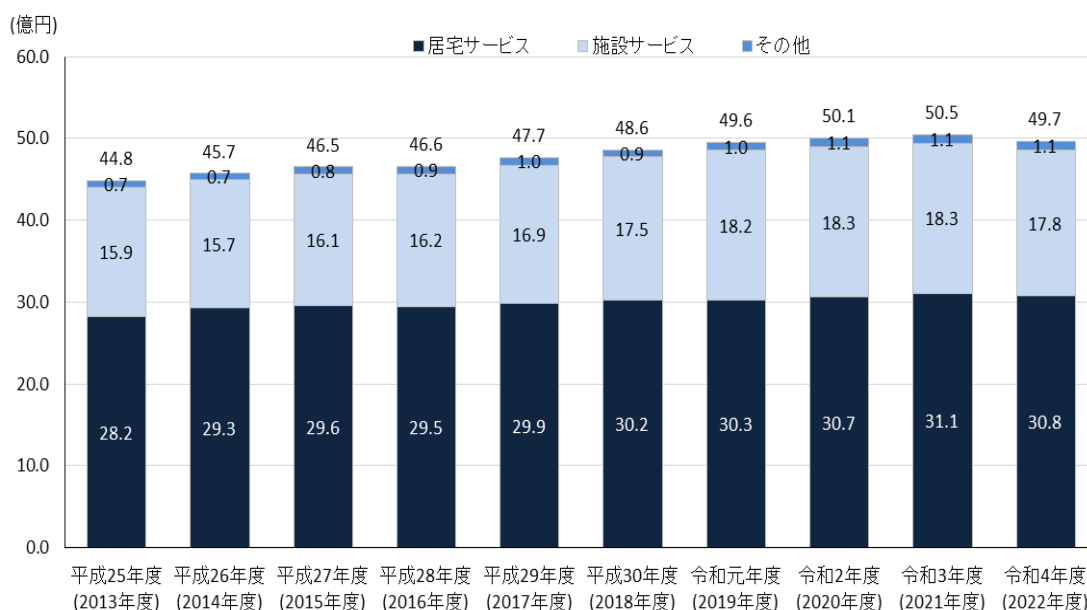
図表8 要介護・要支援認定者数の推移(第1号被保険者)



出典:平成25年～令和3年/厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(各年3月末)、  
令和4年・令和5年/厚生労働省「介護保険事業状況報告月報(各年3月末)

介護給付費は令和3年までは年々増加していますが、令和4年度は減少しています。(図表9)

図表9 介護保険給付費の支出状況

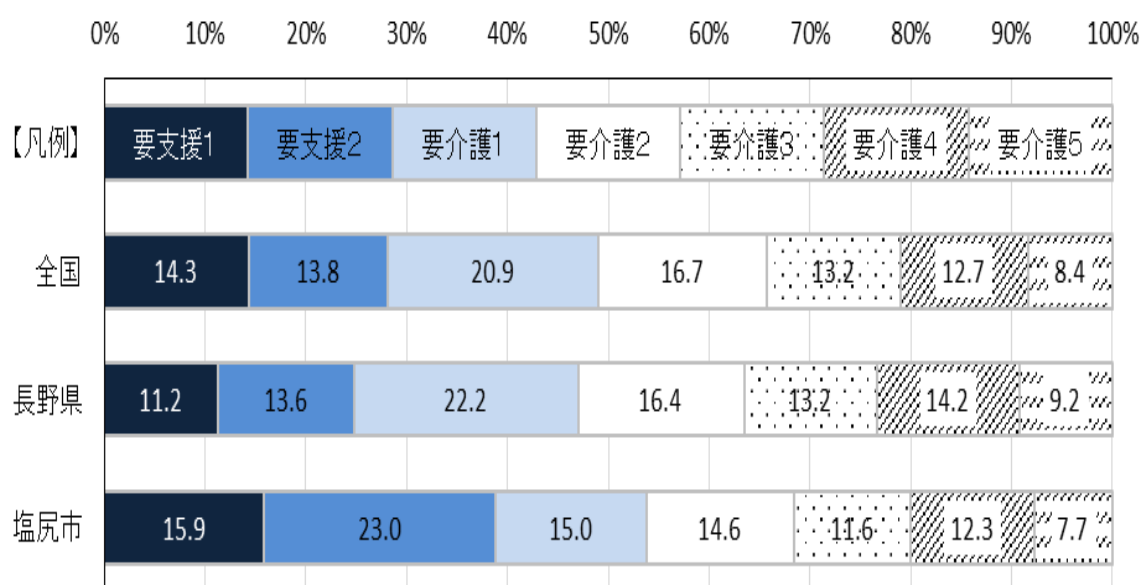


出典:塩尻市統計

●要介護認定者の状況

本市では、要支援2の認定を受けた第1号被保険者の割合が最も多く23.0%となっています。また、要介護度が軽度(要支援1～要介護1)の認定者の割合は53.9%であり、全体の半数以上を占めています。県、国と比較すると、構成比の傾向は似ていますが、本市は軽度の認定者割合がやや高く、要介護2以上の認定者の割合がやや低い傾向であることがうかがえます。(図表10)

図表10 本市、県、国の要介護・要支援認定者割合(第1号被保険者)(令和5(2023)年)

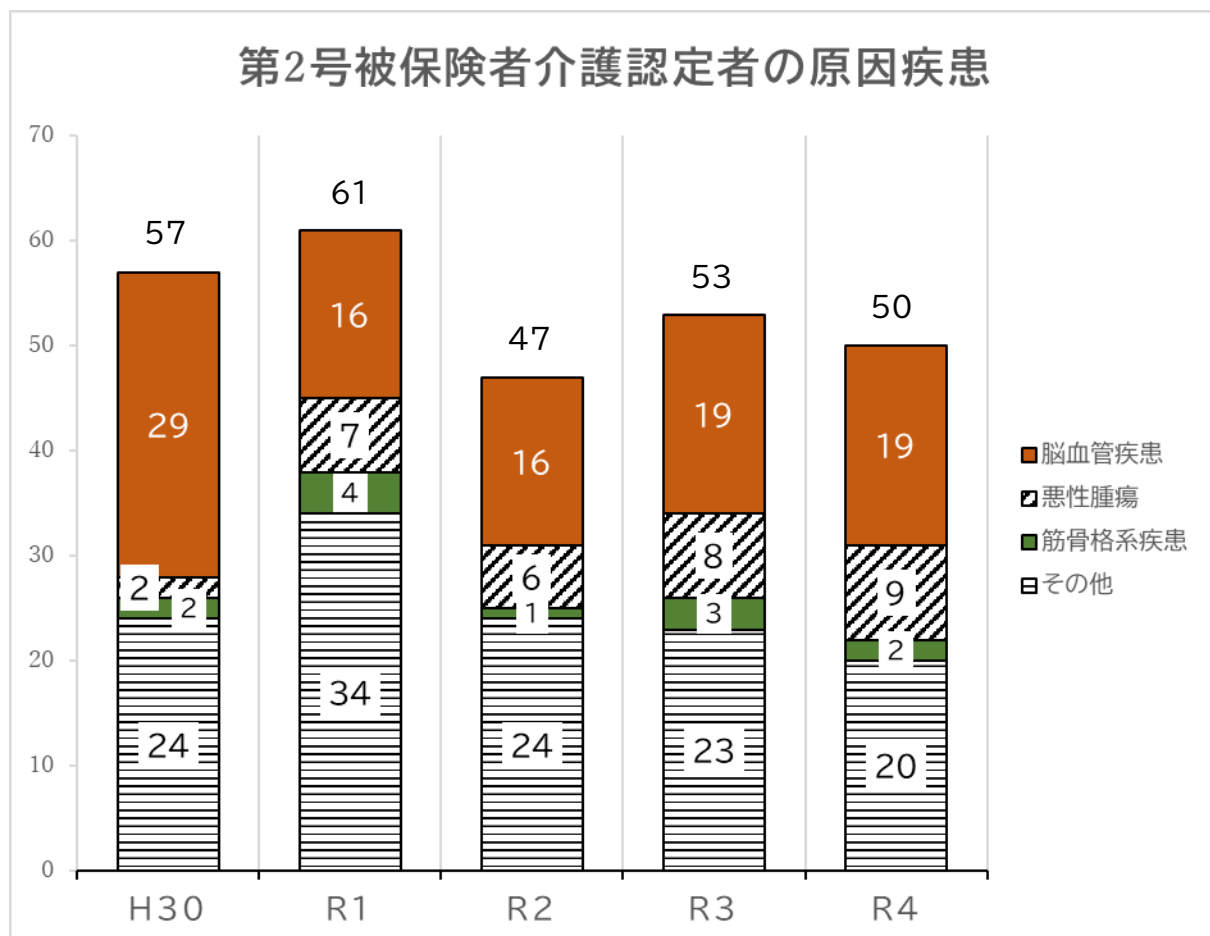


出典：厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」介護保険事業状況報告月報 2023年2月分

第2号被保険者の介護認定者は、平成30年度から令和4年度までの5年間では令和元年度が最も多く、次いで平成30年度が多くなっています。

認定者の原因疾患は、脳血管疾患によるものが多く、悪性腫瘍も増加傾向となっています。脳血管疾患は高血圧の影響が強いため、対策や予防が重要です。生活習慣を改善し、適切な医療を受けるなど市民の意識改革に向けた取り組みの継続が重要です。(図表11)

図表11



【単位:人】

原因疾患	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
脳血管疾患	29	16	16	19	19
悪性腫瘍	2	7	6	8	9
筋骨格系疾患	2	4	1	3	2
その他	24	34	24	23	20
合計	57	61	47	53	50

出典:長寿課

#### (4)国民健康保険と後期高齢者医療

塩尻市の国民健康保険加入者は年々減少していますが、加入者のうち 65 歳から 74 歳の前期高齢者が占める割合は横ばいで、一人当たりの医療費は県・全国と比較して同程度で推移しています。

また、後期高齢者数は増加傾向となっており、一人当たり医療費は県・全国と比較して低いものの増加傾向にあります。この傾向は、高齢化の進展により今後さらに強まると予測されます。

一般的に高齢になるほど受療率は高くなり、医療費も増大するため、予防可能な生活習慣病の発症予防と重症化予防に努める必要があります。(図表12・13)

図表12 国保加入者数等の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
人 口 (人)	67,139	66,855	66,443	66,127	65,828
被保険者数 (人)	14,887	14,330	14,043	13,814	13,262
国保加入率 (%)	22.2	21.4	21.1	20.9	20.1
内前期高齢者数 (65歳～74歳) (人)	6,594	6,400	6,510	6,381	5,960
前期高齢者加入割合 (%)	44.3	44.7	46.4	46.2	44.9
1人当たりの医療費 (円)	374,218	375,492	364,016	378,013	408,308
県内順位(19市中) (位)	6	12	11	13	7
県全体1人当たりの医療費 (円)	360,137	371,057	364,973	388,023	396,972
全国1人当たりの医療費 (円)	367,989	378,939	370,881	394,729	402,506

出典:長野県HP「国民健康保険事業状況」、市民課作成「年齢別人口構成」  
政府統計ポータルサイト e-Stat「国民健康保険事業年報」

図表13 後期高齢者数等の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
平均被保険者数 (人)	9,698	9,959	10,035	10,040	10,365
1人当たりの医療費 (円)	796,647	803,983	816,361	840,663	835,774
県内順位(19市中) (位)	15	16	13	12	12
県全体1人当たりの医療費 (円)	831,187	858,937	818,902	842,323	852,821
全国1人当たりの医療費 (円)	943,082	954,369	917,124	940,512	947,672

出典:後期高齢者医療広域連合HP「後期高齢者医療給付状況」  
政府統計ポータルサイト e-Stat「後期高齢者医療事業年報」



## (5)医療の状況

本市の国民健康保険加入者の病類別患者千人あたり生活習慣病患者数は、県・国と同様に高血圧症による治療者が最も多く、次いで脂質異常症、糖尿病と続く状況です。県・国と比較して、高血圧症、狭心症、脳梗塞、人工透析の患者数が多くなっており、これらの疾患の予防・改善が重要です。(図表14)

図表14 病類別患者千人あたり生活習慣病患者数

	塩尻市	長野県	*同規模
	患者千人当たりの患者数	患者千人当たりの患者数	患者千人当たりの患者数
高血圧症	441.5人	419.7人	439.2人
脂質異常症	380.2人	381.0人	384.7人
糖尿病	205.9人	217.6人	240.2人
狭心症	64.9人	58.5人	62.6人
脳梗塞	46.6人	43.3人	45.1人
人工透析	8.6人	6.8人	6.8人

出典：KDB 医療費分析(1)細小分類

## (6)健康診査(以下健診と表記)等

生活習慣病の発症予防・重症化予防の最も重要な取り組みである、医療保険者による特定健診・特定保健指導は、令和4年度の\*法定報告で、受診率 42.8%、保健指導実施率は56.0%で、県と比べて受診率は低く、保健指導実施率は高くなっています。(図表15)

塩尻市では、若年層の継続受診を促すため、国民健康保険法の中で努力義務となっている25歳～39歳の国保加入者に対しても健診を実施しています。塩尻市国保特定健診の年代別・性別受診者数・受診率では、年代が高くなるにつれ受診率が増加傾向となり、どの年代も男性と比較して女性が高くなっています。(図表16)

また、\*メタボリックシンドローム該当者の割合は、県より低く、予備群は県より高くなっています。(図表15)

特定健診の有所見者割合では、県と比較し男性では収縮期血圧、拡張期血圧、LDLコレステロールが多く、女性では中性脂肪と\*HDLと\*LDLコレステロール、肝機能(\*ALT)が多くなっています。いずれも生活習慣病との関係が深い検査項目であるため、今後の保健指導の内容について検討が必要になります。(図表17)

特定健診の受診回数別の結果を見ると、新規受診者は、継続受診者よりほとんどの項目が悪い状態です。健診の機会を提供し、保健指導を実施することにより、生活習慣病の発症予防、重症化予防に繋げることが、今後も重要と考えます。(図表18)

図表15 塩尻市国保における特定健診結果（令和4年度）

	特定健診			特定保健 指導 実施率	メタボ該当者		メタボ予備群	
	対象者数	受診者数	受診率		人数	割合	人数	割合
塩尻市	9,095	3,895	42.8	56.0	681	17.5	442	11.3
県合計	309,289	146,531	47.4	54.3	27,706	18.9	15,517	10.6
19市中			14位	13位		5位		3位

出典：R4＊法定報告

図表16 塩尻市国保特定健診の年齢別・性別受診者数・受診率(令和4年度)

注：受診者数は年度途中に加入したものを含むため、法定報告とは異なる(令和4年4月1日値)

年齢	男			女			合計		
	被保険者数	受診者数	受診率(%)	被保険者数	受診者数	受診率(%)	被保険者数	受診者数	受診率(%)
25～29歳	203	17	8.4	218	19	8.7	421	36	8.6
30～39歳	491	55	11.2	460	73	15.9	951	128	13.5
40～49歳	715	150	21.0	613	141	23.0	1,328	291	21.9
50～59歳	840	203	24.2	793	234	29.5	1,633	437	26.8
60～64歳	601	161	26.8	682	203	29.8	1,283	364	28.4
65～69歳	1,201	353	29.4	1,326	507	38.2	2,527	860	34.0
70～74歳	1,886	742	39.3	2,057	993	48.3	3,943	1,735	44.0
計	5,937	1,681	28.3	6,149	2,170	35.3	12,086	3,851	31.9
(再掲) 40～74歳	5,243	1,609	30.7	5,471	2,078	38.0	10,714	3,687	34.4

出典：健康づくり報告書 被保険者数

図表17 塩尻市国保における特定健診 有所見者割合(令和4年度)

		特定健診実施結果有所見者割合の状況(保健指導判定値以上)								
		肥満度		血圧		糖代謝	脂質			肝機能
		BMI	腹囲	収縮期	拡張期	HbA1c	中性脂肪	HDL	LDL	ALT
男性	塩尻市	30.0	50.9	44.3	27.1	58.2	27.9	7.6	37.2	20.9
	長野県	31.5	51.1	42.6	26.3	49.0	27.3	8.7	27.8	20.8
女性	塩尻市	19.5	17.3	41.8	16.1	44.2	16.3	2.3	56.9	10.4
	長野県	20.2	17.1	41.7	18.1	57.0	15.9	1.6	53.8	8.8

出典：KDB 厚生労働省様式 5-2

図表18 特定健診の受診回数別の結果(令和4年度)

		全体		新規受診者		継続受診者	
受診者数		3,687人		443人		3,244人	
項目	基準	人数	割合	人数	割合※1	人数	割合※2
血压	I度高血压以上 (収縮期 130 以上または拡張期 80 以上)	887	24.1%	147	33.1%	740	22.8%
糖	空腹時 100 以上 または随時 140 以上	712	19.3%	97	21.9%	640	19.7%
	*HbA1c	588	16.0%	67	15.1%	521	16.1%
脂質	中性脂肪	739	20.0%	105	23.7%	634	19.5%
	HDL コレステロール	216	5.9%	31	7.0%	185	5.7%
	LDL コレステロール	956	26.0%	152	34.3%	804	24.8%

※1:新規受診者 443 人 ※2:継続受診者 3,244 人中の割合

出典:塩尻市国保特定健診結果